

思いやりの心を育む保育体験

■ 2月19日（木）、二戸市総合福祉センターこども家庭課の工藤加奈子主任保健師と蓑輪淳子思春期保健相談士を講師にお招きし、3年生家庭科の授業で「保育体験教室」を実施しました。

○はじめに、「命について」や「妊娠から出産まで」について講話をいただいた後、妊婦疑似体験や赤ちゃん人形を使った抱っこ体験、おむつ交換体験など、実践的な活動を行いました。

○赤ちゃんにとってスキンシップや優しい言葉かけが大切であること、また「マタニティマーク」や「プレコンセプションケア」についても分かりやすくご説明いただき、生徒たちは命の尊さや健康の大切さについて理解を深めました。

○講師の先生からは、「健康的な生活習慣を身に付けることで、今も未来も輝く自分になれる」との温かいメッセージをいただきました。参加した生徒からは、「改めて親に感謝したい」「妊婦さんが困っていたら進んで助けたい」といった感想が聞かれ、思いやりの心を育む貴重な学びの時間となりました。

